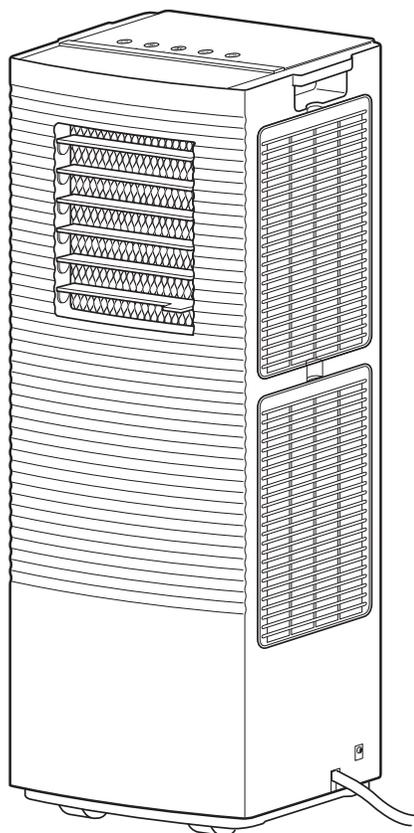


除湿機能付きポータブルクーラー KPC-0731

取扱説明書 (保証書付)

ご使用前に必ずお読みください。



目次

安全上のご注意	1～4
知っておいていただきたいこと	5
各部のなまえ	6
ご使用前の準備	7～8
排熱ダクトの組み立て	7
排熱ダクトの取り付けかた	7
排水のしかたを選ぶ	8
正しい使いかた	9～11
運転を開始する	9
冷房モードで運転する	9
送風モードで運転する	9
除湿モードで運転する	10
切タイマーを使用する	10
風向きを調節する	10
運転を停止する	10
排水タンクの水の捨てかた	11
メモリー機能について	11
お手入れのしかた	12
保管のしかた	13
廃棄について	13
こんな表示がでたら	13
故障かな?と思ったら	14
長期使用製品安全表示制度に基づく	
本体表示について	15
仕様	16
アフターサービスについて	17
お客様の個人情報のお取り扱いについて	17
保証・無料修理規定	18
保証書	19
お客様相談窓口	19

このたびは、コイズミ 除湿機能付きポータブルクーラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に大切に保管してください。

●特に1～5ページの「安全上のご注意」と「知っておいていただきたいこと」を必ずお読みください。

安全上のご注意

- ※ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ※ ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

-  **警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
-  **注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示の例

-  ○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

警告

- | | |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none">● 故障・異常時には、直ちに使用を中止する。
そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。<ul style="list-style-type: none">・電源コードを動かすと通電したり、しななかったりする。・運転中に異常な音や振動がする。・電源プラグ・電源コード・本体などが異常に熱い。・こげくさい臭いがする。※このような症状のときはすぐに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へ点検、修理を依頼してください。 |
| | <ul style="list-style-type: none">● 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。 |
| | <ul style="list-style-type: none">● 電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。
ショート・火災の原因となります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● 改造はしない。修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電やけがをすることがあります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● 水につけたり、水やお茶などをかけたりしない。
万一かかったときは、漏電や感電、過熱の恐れがありますので、直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● 外出時、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
けがや絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。 |

警告

- AC100V 以外では使用しない。(日本国内専用)
火災・感電の原因となります。
AC200V・船舶の電源・直流電源など AC100V 以外では使用しないでください。
- 電源コードを束ねて使用しない。
発熱による火災の原因となります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因となります。
- 電源コードを傷付ける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・重い物を載せる・はさみ込む・除湿機能付きポータブルクーラーの下を通すなどしない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを本体に巻き付けない。
電源コードが断線して、ショートなどによる感電や火災の原因となります。
- 運転中に電源コードを抜いて停止しない。
感電や火災の原因となります。
- 子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届く場所で使用しない。
けが・感電の原因となります。
- すき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。
感電や異常動作してけがをすることがあります。
- 業務用として使用しない。また不特定多数の人が使用する場所に置かない。
連続過負荷による故障の恐れがあります。
- 発熱器具の近くに置かない。
樹脂部分が溶けて引火する原因となります。
- 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない。
不完全燃焼や炎の飛散により、火災や故障の原因となります。
- 本体に乗ったり、寄りかかったり、腰かけたりしない。
けがや故障の原因となります。
- 次のような場所で使用しない。
 - ・ 温室や浴室、屋外など高温・多湿・雨や水のかかる場所
 - ・ ガスレンジなど炎の近く、引火性ガスのある場所
 - ・ 油・ほこり・薬品などがつきやすい場所
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 暖房器具の温風が当たる場所感電やショート・発火の原因となります。
- 包装用ポリ袋は、乳幼児の手の届かない場所に保管または廃棄する。
頭からかぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息する原因となります。



安全上のご注意

⚠ 警告



- 長時間身体に風を当てない。
健康を害する恐れがあります。
次のような方がお使いのときは特に注意してください。
・乳幼児 ・自分で操作できない方 ・お年寄り

- 排熱ダクトを潰さない。
水漏れや能力低下の原因となります。

- 排熱吹出口や排熱ダクトの吹出口に顔や手を近づけない。
けがの原因となります。



- 使用中、吹出口や吸込口のすき間に手や指を入れない。
けがの原因となります。



- アースを確実に取り付ける。
故障や漏電のときに感電する原因となります。
 - ・アース端子付きコンセントを使用するとき
アース線をアース端子に固定する。
アース線の先端がコンセントに触れないように注意する。※アース線を接続できない物
ガス管、水道管、電話線のアース、避雷針
アース線がはずれたり、ゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。
 - ・アース端子付きコンセントがないとき
販売店または電気工事店にご相談ください。(本体価格に工事費は含まれていません)

- 「電気工事士」の有資格者による D 種接地工事が必要な据え付け場所
<湿気の多い場所>
土間、コンクリート床、酒やしょうゆなどの醸造・貯蓄場所など
<水気のある場所>
洗い場などの水気のある場所、水を使用する土間、結露がおきやすい場所
(漏電遮断器の取り付けも法律で義務付けられています)

⚠ 注意



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持つ。
感電やショートして発火することがあります。

- お手入れの際は、必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、排水タンクの水を捨ててから行う。
感電やけがをすることがあります。

- 移動する際は必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、排水タンクの水を捨ててから行う。
また、排熱ダクトや排水ホースを使用している場合は、排熱ダクトや排水ホースをはずす。
故障・水漏れ・破損の原因となります。

⚠ 注意

● 排水タンクの水を飲料用に使用したり、動植物に与えない。
健康に悪影響をおよぼす原因となります。

● 強い衝撃や振動を与えない。
故障の原因となります。

● カーテンなど、風に吸い込まれやすい物の近くで使用しない。
また、家具や障害物・テープなどで吸込口や吹出口をふさがない。
故障や事故の原因となります。

● 本体を横にねかせて使用しない。
故障や事故・けがの原因となります。

● 屋外では使用しない。
故障・感電の原因となります。

● 美術品・学術資料などの維持、管理や保存など特殊な用途では使用しない。
保存品の品質低下などの原因となります。

● 押入れ、家具のすき間など狭い場所で使用しない。
風通しが悪くなり、発熱・発火の原因となります。

● 水平で丈夫な場所で使用する。
水漏れして家財などをぬらしたり、漏電によって感電・火災の原因となります。

● 周囲温度 20℃～ 35℃の範囲で使用する。
機械の保護装置が働き、運転できないことがあります。

● フィルターを取りはずしたまま使用しない。
故障の原因となります。

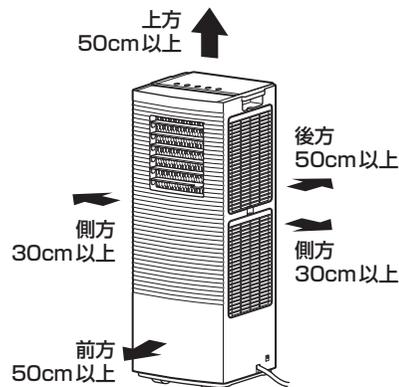
知っておいていただきたいこと

運転について

- 冷風は出ますが、エアコンと違い部屋全体を冷房することはできません。閉め切った部屋で運転すると、排熱により室温が上昇します。
- 付属の排熱ダクトを使用することで、室温の上昇を抑えることができます。(P.7 参照)
- 冷房モード使用時、運転可能な部屋の温度は 20℃～35℃です。部屋の温度が 20℃以下、または 35℃を超えると本体を保護するために冷房機能が停止することがあります。
- 除湿モード使用時、運転可能な湿度は 30%～90%です。部屋の湿度が 30%以下、または 90%を超えると除湿機能が停止することがあります。

設置について

- 吹出口や吸込口をふさがないように、右図の距離を離して設置してください。
- 水平で安定したじょうぶな床の上に設置してください。
- 高温・多湿・雨や水のかかる場所・直射日光の当たる場所・ほこりの多い場所・暖房器具の温風が当たる場所に設置しないでください。
- パソコンやテレビなど電子機器の近くで使用しないでください。
・映像の乱れや雑音の原因となります。



移動について

- 運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、排水タンクの水を捨ててから移動させてください。
- 必ず側面の持ち手を持ってゆっくりとキャスター移動させてください。
- 強い衝撃を与えないように注意してください。
- 電源コードを引きずったり、引っ掛けたり、ふみつけたりしないよう注意してください。
- 部屋間の仕切りや、凹凸のある場所、階段、傷の付きやすい床などは持ち上げて移動してください。

霜取りについて

- 冬など室温が低くなると、本体内に霜が発生する場合があります。その場合、電源ランプと使用中のモードのランプが点滅し、霜取り運転を行います。
霜取り運転の間は、通常の運転ではなく、霜取りが優先されます。

運転音について

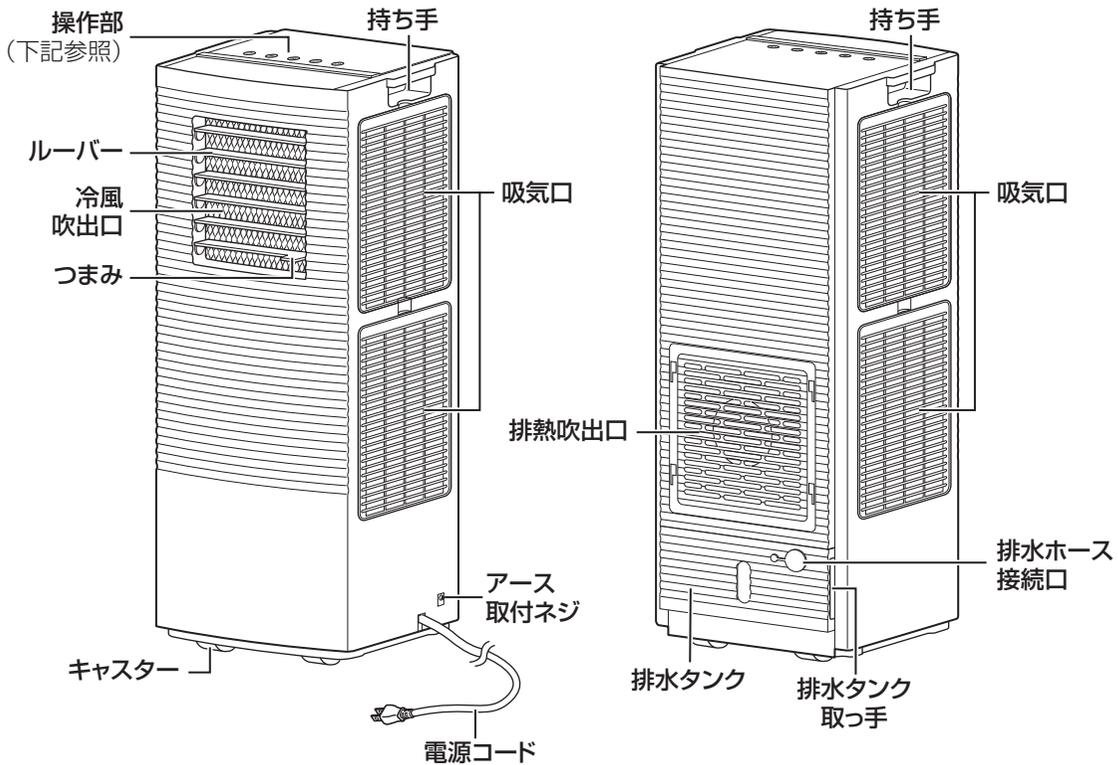
- この商品はコンプレッサー一体型のため、室内に室外機があるのと同じ状態になります。運転時は、セパレートエアコンに比べて音が大きくなります。

コンプレッサーについて

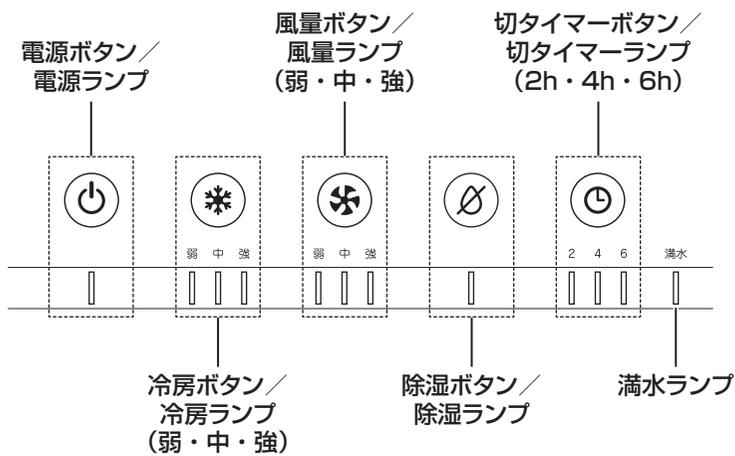
- 電源プラグをコンセントに差し初めて運転するときは、コンプレッサーがはたらくまで約 2～3 分かかります。
- 運転終了時は製品保護のためコンプレッサーがすぐには止まらない場合がありますので、電源プラグを抜かないでください。

各部のなまえ

本体



操作部



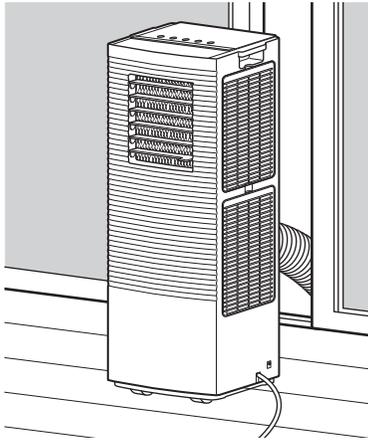
付属品



ご使用前の準備

効果的な使いかた

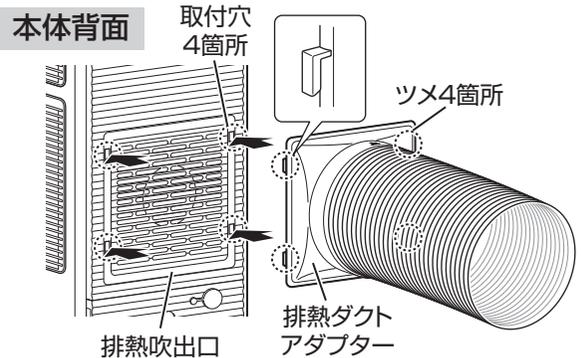
排熱ダクトを室外に伸ばし、温風（排熱）を室外に排出すると、効果的に冷房モードの運転ができます。



排熱ダクトの取り付けかた

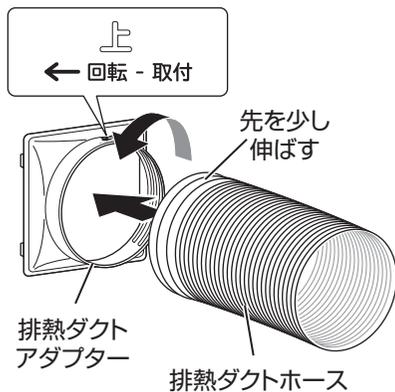
- 1 本体背面の排熱吹出口に、付属の排熱ダクトのツメを差し込みます。

排熱ダクトの4箇所のツメを、ツメの開いている方が下になるようにして排熱用吹出口の取付穴に差し込みます。



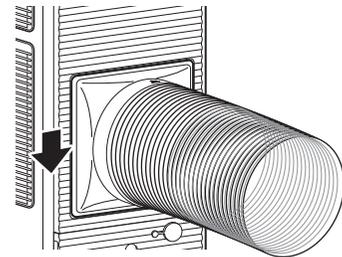
排熱ダクトの組み立て

排熱ダクトアダプターに排熱ダクトホースを差し込み、反時計回りに回して取り付けます。



- 2 排熱ダクトを押し下げて固定します。

※ すき間がないことを確認してください。
※ 排熱ダクトが固定されない場合は、ツメの向きを確認してください。（ツメの開いている方を下にして差し込んでください。）



ご注意

- 排熱ダクト使用時は本体が倒れないようご注意ください。
水がこぼれて家財などをぬらしたり、火災や感電の原因となります。
- 排熱ダクトはなるべく曲げずに使用してください。
性能低下の原因となります。
- 排熱ダクトの先端は屋外に出さず、屋内で使用してください。
雨や風の侵入で故障の原因となります。
- 冷風の吹出口として使用しないでください。
ダクト内部で結露し、水漏れの原因となります。
- 排熱ダクトを接続すると、本体背面（排熱用吹出口）からの排熱の温度が高くなります。
- 排熱ダクトの中に手を入れない。
排熱ダクトの切断面から芯線（金属）が露出している場合があり、手を切るなどけがの原因となります。

排水のしかたを選ぶ

排水タンクへ排水するとき

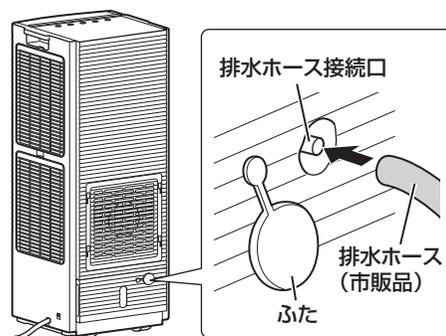
冷房、除湿モード時は排水タンクに水がたまります。
排水タンクが満水になると操作部の満水ランプが点灯し、運転を停止します。

排水用ホースで連続排水するとき

排水ホース（市販のビニールホース）を取り付けることで、連続排水することができます。

連続排水用ホースの取り付けかた

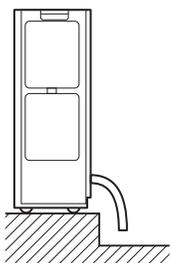
- 1 本体背面の排水ホース接続口のふたをはずし、排水ホース（市販品 ※内径 12mm）を奥までしっかり差し込む
- 2 排水ホースの先を排水場所へ設置する



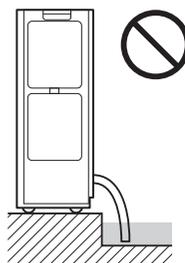
ご注意

- 排水ホースは必ず下り勾配になるように設置してください。
- 排水ホースの先端を水中に入れたり、途中で高くなったり曲がったりしていると排水できません。
- 排水ホースの周囲が氷点下にならない場所に設置してください。
- 排水ホースの接続部から水漏れがなく、正常に排水されるか確認してから使用してください。
- 排水ホースのつまりや折れ曲がり、劣化などが無いことを確認してください。

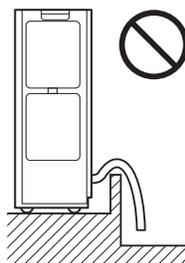
正しい設置例



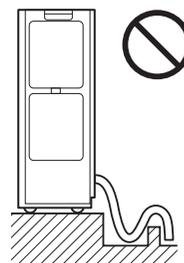
間違った設置例



ホースの先が水につかっている



ホースの一部分が排水口よりも高い



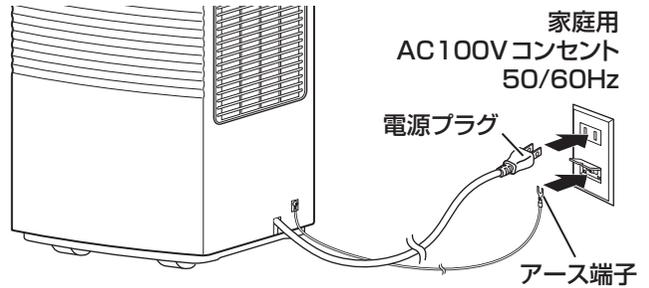
ホースが段差を乗り越えている

正しい使いかた

運転前に

電源プラグをコンセントに差し込みます。

「ピッ」と鳴り、ランプが全点灯した後消灯し、待機状態になります。



運転を開始する

電源ボタンを押します。

- 電源ランプが点灯します。
- 初めて運転したときは、冷房モード [強] で運転します。

操作部



冷房モードで運転する

冷房ボタンを押します。

- 冷房ボタンを押すたびに、風量が切り替わります。風量は [弱] [中] [強] の3段階から選べます。
- ※ 電源プラグをコンセントに差して初めて運転するときは、コンプレッサーがはたらくまで約2～3分間かかります。

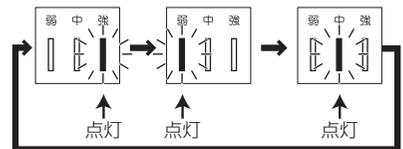
操作部



排水タンクが満水になったとき

冷房モードまたは除湿モードで排水タンクが満水になると、自動で運転が停止し満水ランプが点灯します。排水タンクの水を捨ててください。(P.11 参照)

ランプ



送風モードで運転する

送風ボタンを押します。

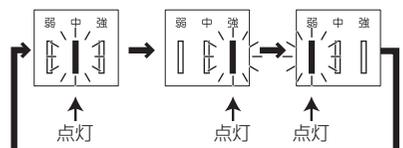
- 送風ランプが点灯し、送風モードで運転を開始します。
- 送風ボタンを押すたびに、風量が切り替わります。風量は [弱] [中] [強] の3段階から選べます。
- ※ 冷房モード運転時から送風モードへ切り替えた場合は、冷房モードの風量で運転を開始します。除湿モード運転時から送風モードへ切り替えた場合は、[弱] で運転を開始します。

操作部



ランプ

例：冷房モード [中] で運転時に送風ボタンを押した場合

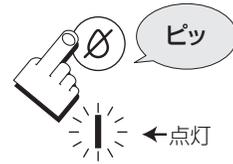


除湿モードで運転する

除湿ボタンを押します。

- 除湿ランプが点灯し、除湿モードで運転を開始します。
- ※ 電源プラグをコンセントに差し初めて運転するときは、コンプレッサーがはたらくまで約 2～3 分かかります。

操作部



排水タンクが満水になったとき

冷房モードまたは除湿モードで排水タンクが満水になると、自動で運転が停止し満水ランプが点灯します。排水タンクの水を捨ててください。(P.11 参照)

切タイマーを使用する

● 設定した時間経過後に、自動的に運転を停止する機能です。

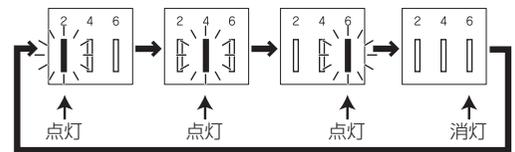
運転中に切タイマーボタンを押します。

操作部

- 本体の切タイマーボタンを押すたびに、設定時間が切り替わります。切タイマーは [2 時間後] [4 時間後] [6 時間後] に設定できます。(設定に応じて、切タイマーランプが切り替わります。)

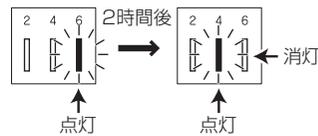


ランプ



- 設定時間が経過すると、自動的に運転を停止します。(タイマーランプが全て点滅します。)
- 切タイマーランプは残りの時間を表します。(右図参照)

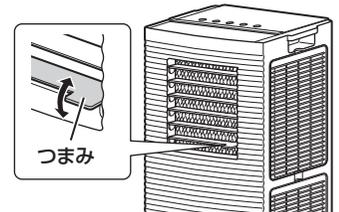
例：6時間後に設定した場合



風向きを調節する

前面のルーバーのつまみをお好みの方向（上下）に動かします。

- ルーバーの稼働範囲は上 40°、下 20°です。



運転を停止する

電源ボタンを押します。

- 操作部のランプがすべて消灯します。
- 切タイマーを設定している場合は、設定が解除されます。
- ※ 運転停止後約 3 分間は、内部を乾燥させるためにファンが回転しますが、異常ではありません。

ご注意

- 運転終了時は製品保護のためコンプレッサーがすぐに止まらない場合がありますので、電源プラグを抜かないでください。

使用後は

運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜きます。

正しい使いかた

排水タンクの水の捨てかた

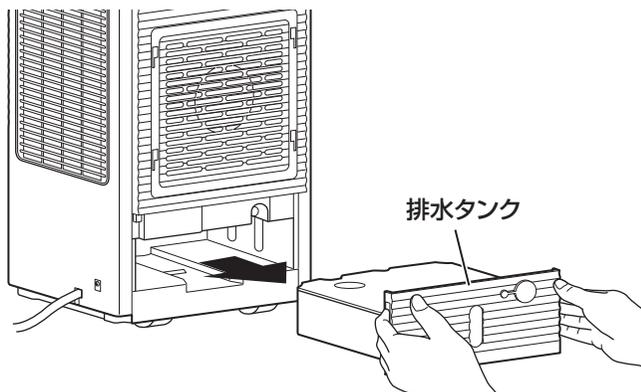
満水ランプが点灯したとき、長期間使用しないとき、本体を持ち運ぶときは排水タンクの水を捨ててください。

1 電源ボタンを押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 排水タンクを取りはずします。

本体背面から、排水タンクを引き出します。

※ 内部の水がこぼれる場合がありますので、両手で持って水平に引き出してください。

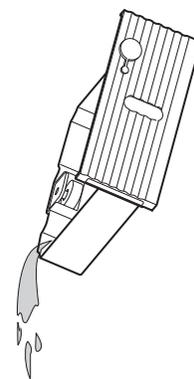
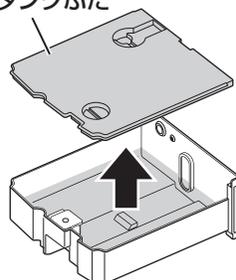


3 排水タンクふたを開き、タンク内の水を捨てます。

排水タンク上部のふたを開けて、タンク内の水を捨てます。

排水後はタンクとふたにすき間がないようにしっかりと閉めてください。

排水タンクふた



4 排水タンクをセットします。

排水タンクを奥につき当たるまでしっかりと押し込みます。

※ 排水タンクが正しくセットされていないと、運転できません。

メモリー機能について

本体の電源ボタンで電源を切った場合、運転モード（冷房／送風）、運転風量、除湿を、電源を切る前の状態で記憶します。（タイマーのみリセットされます。）

電源プラグをコンセントから抜いた後や停電したときは、記憶されている内容は消えます。

お手入れのしかた

※ 運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

本体

薄めた台所用洗剤（中性）にやわらかい布などを浸してしぼり、汚れを拭き取ります。その後、洗剤が残らないように、乾いた布でもう一度拭き取ってください。

ご注意

- 操作部、本体内部の電気部品には絶対に水をかけないでください。
感電や故障の原因となります。
- シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。
本体を傷めます。また変色、変形の原因となります。

排水タンク

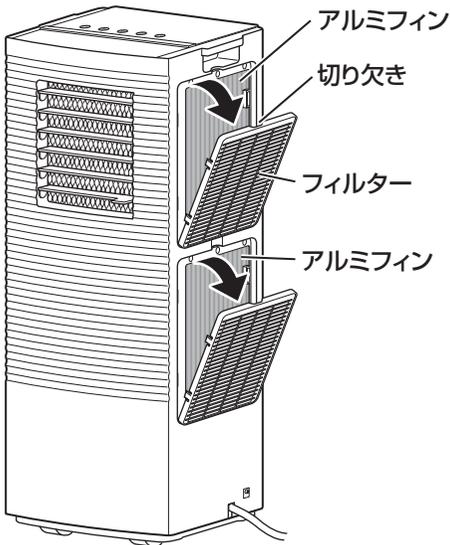
排水タンクふたを取りはずし、排水タンクとタンクふたを水洗いしてください。

フィルター

フィルターにごみやほこりなどがたまると、性能の低下や故障の原因となりますので、2週間に1回を目安にお手入れしてください。

1 左右のフィルター（各2枚）を取りはずします。

フィルター上部の切り欠きに指をかけ、手前に引いて取りはずします。



ご注意

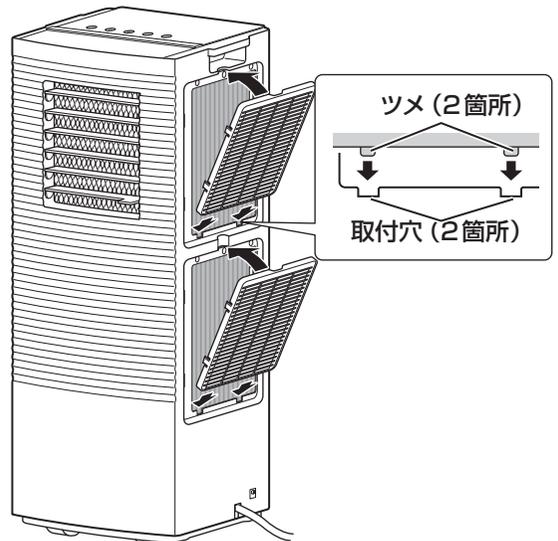
- 内部のアルミフィンに触らないでください。
やけどやけがをする恐れがあります。

2 掃除機でフィルターのほこりを取り除きます。

- フィルターが傷付かないよう注意してください。
- 汚れがひどい場合は、フィルターを水洗いしてください。
- お手入れをしても汚れが取れないときや傷みがひどい場合は、フィルターを新しい物に交換してください。

3 左右のフィルター（4枚）を取り付けます。

フィルター下部のツメ（2箇所）を本体の取付穴（2箇所）に差し込んでから、フィルターをカチッと音がするまで押し込んでください。



保管のしかた

- 排水タンクの水を捨ててください。
- 内部に水滴を残さないため、晴れた日に半日ほど「送風モード」で運転をして乾燥させてください。
- ポリ袋などに包み、直射日光の当たらない湿気の少ない場所に立てて保管してください。

廃棄について

- 梱包材などを廃棄するときは、お住まいの地域の自治体へお問い合わせください。
- 本体にはフロン類の冷媒が使用されています。そのため本体を廃棄する場合には、地球への影響に配慮して適切に処理する必要があります。
お住まいの地域の自治体へお問い合わせください。

こんな表示がでたら

このようなとき	原因	処置のしかた
運転が停止し、すべてのLEDランプが点滅している	電子部品の故障です。	速やかにコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。
冷房運転中にファンは回転しているが、電源ランプと冷房ランプが点滅している	霜取り運転です。	霜取り運転中のためしばらくお待ちください。
除湿運転中にファンは回転しているが、電源ランプと除湿ランプが点滅している		
運転が停止し、電源ランプと冷房ランプが点滅している	動作温度対象外です。	室温を確認いただき、適切な温度の部屋でご使用ください。
運転が停止し、電源ランプと除湿ランプが点滅している	動作湿度対象外です。	室内の湿度を確認いただき、適切な湿度の部屋でご使用ください。
送風ファンが回転し、冷房ランプのみが点滅している	高温異常です。	排熱吹出口、排熱ダクトが塞がれていないか確認してください。
送風ファンが回転し、除湿ランプのみが点滅している		
満水ランプが点灯している	タンクの水が満水です。	タンクを取り出し、タンクの水を捨てたあと、タンクを戻してください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、次の点検をしてください。それでも異常のあるときは商品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

このようなとき	点 検	処置のしかた
運転しない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●満水ランプが点灯していませんか？	タンクの水を捨ててください。
	●すべてのランプが点滅していませんか？	お買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。
冷風が出ない	●送風モードになっていませんか？	冷房モードにしてください。
	●フィルターが汚れていませんか？	フィルターを掃除してください。
	●直射日光が当たっていませんか？	直射日光の当たらない場所で運転してください。
	●吹出口、吸込口、排熱口がふさがっていませんか？	吹出口、吸込口、排熱口をふさがないでください。
	●部屋の温度が 20℃～ 35℃を越えていませんか？	部屋の温度が 20℃～ 35℃の環境で使用してください。(P.5 参照)
	●運転開始直後は保護装置が働いているため約 2～3 分間送風運転をした後に冷風が出ます。	
水が漏れる	●水平でない場所や不安定な場所に置いていませんか？	安定した水平な場所で使用してください。
	●排水タンクが正しく取り付けられていますか？	排水タンクを正しく取り付けてください。
「シュルシュル」と音がする	●内部の冷媒が流れる音で、異常ではありません。	
運転が途中で止まる	●切タイマーを設定しませんでしたか？	切タイマーを設定すると、設定した時間経過後に自動的に運転を停止します。(P.10 参照)
部屋が冷えない	●閉め切った場所で運転していませんか？	本体背面から排熱されるため、閉め切った場所で運転すると室温が上がります。排熱ダクトをご利用ください。(P.7 参照)
本体を倒してしまった	●本体を元に戻し、電源プラグを抜いてください。水がこぼれている場合はしっかり拭き取り、乾かしてからご使用ください。	
運転を停止してもコンプレッサーが動いている	●運転終了後は製品保護のためコンプレッサーはすぐには止まらない場合があります。	

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

- 経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に4桁で表示してあります。



【設計上の標準使用期間】5年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上の支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
- 無償保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

■標準的な使用条件

大項目	中項目	小項目	備考
環境条件	電圧	単相 100V	製品の定格電圧による
	周波数	50Hz / 60Hz	
	温度	27℃	
	湿度	47%	
	設置条件	標準設置	製品の取扱説明書による
想定時間等	1日あたりの使用時間	9h / 日	
	1年間の使用日数 (東京モデル)	6/2 ~ 9/2 までの 112日間	

●「経年劣化」とは

長期間にわたる使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

愛情点検

★長年ご使用の除湿機能付きポータブルクーラーの点検を！



ご使用の際
このような
ことはあり
ませんか？

- 電源を入れても、ときどき運転しないときがある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 電源プラグ・電源コード・本体が異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常・故障がある。

▶
ご使用
中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

仕様

電	源	AC100V 50/60Hz						
消	費	電	力	280/350W				
外	形	寸	法	約 255 (幅) × 240 (奥行) × 630 (高さ) mm				
質	量	約 14.5kg						
電	源	コ	ー	ド	の	長	さ	約 1.8m
冷	媒	R134a						
付	属	品	排熱ダクトアダプター、排熱ダクトホース、アース線					

※ 本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼される時

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 除湿機能付きポータブルクーラーの補修用性能部品の保有期間は製造打切後9年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、「無料修理」**致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご購入、ご購入品等**で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

除湿機能付きポータブルクーラー

保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	KPC-0731		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	
	本体	1年	
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	TEL
販売店	店名・住所・電話		

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL. 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：00
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2023年5月現在（所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います）